

みずほCustomer Desk Report 2017/02/01号(As of 2017/01/31)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	113.68	1.0709	121.72	0.9949	1.2500	0.7566
SYD-NY High	113.96	1.0812	122.25	0.9966	1.2595	0.7606
SYD-NY Low	112.08	1.0685	121.03	0.9862	1.2412	0.7543
NY 5:00 PM	112.79	1.0799	121.87	0.9895	1.2575	0.7589
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	12.14/12.565		25RR	0.698	Yen Call Over	

	日本2年債	日本10年債	米国2年債	米国5年債	米国10年債	独10年債	英10年債	豪10年債
債券市場	-0.1940	0.0870	1.2044	1.9129	2.4531	0.4360	1.4170	2.7130
	3.8bp	0.2bp	▲0.8bp	▲3.6bp	▲3.5bp	▲1.3bp	▲2.7bp	▲1.1bp

	USD/CNH	ドルインデックス	CRB指数	NY金	WTI	Dubai Spot
為替市況	6.8275	99.51	192.035	1,211.40	52.81	53.00
	▲0.0358	▲0.92	0.77	15.40	0.18	▲1.23

	商品市況
USD/JPY 3M Vol	12.45
USD/JPY 6M Vol	12.24
EUR/JPY 3M Vol	11.76
EUR/JPY 6M Vol	12.67

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月31日	8:30	日 失業率/有効求人倍率	12月 3.1%/1.43	3.1%/1.42
	8:50	日 鉱工業生産・速報値(前月比/前年比)	12月 0.5%/3.0%	0.3%/3.0%
	-	日 日銀金融政策決定会合	-	-
	15:30	日 黒田日銀総裁記者会見	-	-
	19:00	日 GDP(前期比/前年比)・速報値	4Q 0.5%/1.8%	0.5%/1.7%
	19:00	日 CPI予想/CPIコア(前年比)	1月 1.8%/0.9%	1.5%/0.9%
	23:45	米 シカゴ購買部協会景気指数	1月 50.3	55.0
2月1日	0:00	米 消費者信頼感	1月 111.8	112.8

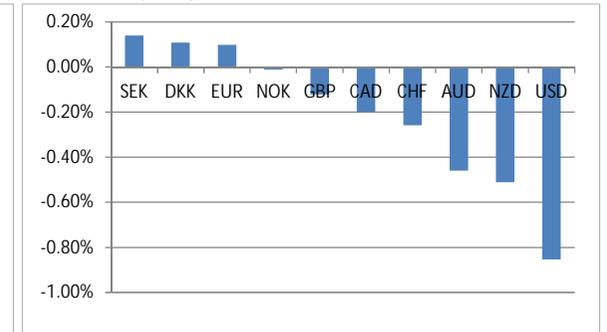
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月1日	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	1月 51.2/-	51.4/54.5
	17:55	独 マークイット製造業PMI・確報値	1月 56.5	56.5
	18:00	欧 マークイット製造業PMI・確報値	1月 55.1	55.1
	18:30	英 マークイット製造業PMI	1月 55.9	56.1
	21:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	4.0%
	22:15	米 ADP雇用統計	1月 168K	153K
	23:45	米 マークイット製造業PMI	1月 55.1	55.1
2月2日	0:00	米 ISM製造業景況指数	1月 55.0	54.5
	0:00	米 建設支出(前月比)	12月 0.2%	0.9%
	4:00	米 FOMC政策金利公表	- 0.50-0.75%	0.50-0.75%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	東京時間のドル円は113.68レベルでオープン。日経平均株価が前日比200円超安で寄り付き軟調推移となるとドル円は113.59まで下落。一旦113円台後半まで持ち直すも、トランプ大統領が入国制限に反対した(11-7)米司法長官代行を解任したことが報じられ保護主義政策への警戒感が高まったことから113円台半ばまで下落。日銀金融政策決定会合において政策の現状維持が決定されたことが伝わると一時113.75をつけると直ぐに反落に転じ、発表前の水準を割れて東京時間安値となる113.24まで下落。特段の材料ない中で113.75まで再度上昇する局面も見られたが、その後は黒田日銀総裁の講演を控えて様子見ムードとなり113円台半ばを中心としたもみ合い推移が続き、結局113.47レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は113円台半ばから後半でのレンジ推移。113.47レベルでオープン。欧州金利の上昇を背景にユーロ円が底堅い展開となるとドル円もつれ高となり、113.96まで上昇。トランプ大統領が新設した国家通商会議(NTC)のナバロ委員長が、「ドイツがユーロの『甚だしい過小評価』を悪用して貿易の優位性を高めている」と批判したことが大手金融紙より報道されると、ユーロドルが1.07台ちょうど近辺から半ばまで上昇。この動きによるドル売りの流れを受け、ドル円は113円前半まで反落し、113.30レベルでNYへ渡った。ドル円は一時1.24台前半まで下落した後、1.24台後半まで反発。朝方は1.2510レベルでオープンし、1.25ちょうど近辺でもみ合い。50条発動法案の庶民院でのSecondReading(初回審議)が始まる前からドル売りの流れとなり、1.2412まで下落。前述のナバロ委員長発言の報道を受けたドル売りを受けドル円は反発し、1.2488レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00) 日野00531 444 179)
ニューヨーク	NY時間のドル円は113.30レベルでオープン。朝方トランプ氏から「中国、日本は自国通貨の過小評価を利用して貿易で優位性を高めている」との人民元安、円安に対する不満についての発言が伝わるとドル円は112.50付近のストップを巻き込み、112.08まで下落。年初来安値となるこの水準では下げ渋り、その後はロンドンフィックスにかけてドル買いが強まったことから113.33まで反発。しかし保護主義優先の現在の米新政権下では貿易戦争に発展する懸念もあり、米長期金利低下、米株マイナスイ動推移となる中、ドル円は上値の重い値動きとなった。その後ムニッヒ次期財務長官の承認採決が民主党の抵抗で延期されたとの報道が出たが市場への影響は限定的となり、ドル円は112円台後半での推移が続き112.79レベルでクローズした。一方ユーロドルはナバロ氏のドイツ批判発言を受けて1.06台後半から1.0749まで上昇し、NYオープン。その後もトランプ氏のドル高けん制、中国・日本の通貨安批判を受けてドル売りが一段と強まる中、ユーロドルは一時1.0812まで上昇。しかし年初来初となる1.08台では売り意欲も強く、その後は小緩み1.0799レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 山下・森谷

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00-113.50	1.0700-1.0850	121.00-122.50

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場は、日銀金融政策決定会合での政策変更なし・黒田日銀総裁の会見も新味なしで113円後半で膠着していたものの、ナバロ国家通商会議メンバーのドイツは大幅に過小評価されたユーロを利用しているとの発言をきっかけにドル売りとなると、ドル円は113.00割れ。その後の米経済指標も総じて予想を下回り、トランプ米大統領の中国と日本は切り下げで市場を手玉に取ったとの発言もあり、112円前半まで急落。ドル売り一巡で、一時は113円台復帰も、ドル売り圧力強く、112円後半へ再び下押しで引ける。本日は、リスク警戒感からドル円の上値は重くなるものの、テクニカル・心理的なレベルである110円台を前に相応の買戻しには注視したい。